

英彦山青年の家は

ワンヘルス

One Health

を推進しています



ワンヘルス(One Health) ってなんだろう？



FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルス (One Health)

けんこう

= 「ひとつの健康」とは？

ひと

どうぶつ

かんきょう

けんこう

人と動物、そして環境の健康は

ひと

かんが

まも

一つと考えて、守っていくため

かんが

こうどう

に、みんなで考えて行動すること。

ひと

けんこう

く

人が健康な暮らしをするためには、

どうぶつ

かんきょう

けんこう

まも

ひつよう

動物や環境の健康を守る必要があります。



英彦山青年の家は、ワンヘルスを推進しています

柱 I

ひと どうぶつ きょうつうかんせんしょうたいさく

人と動物の共通感染症対策



どうぶつ ひと ひと どうぶつ うつ びょうき しゅるいいじょう もり なか どうぶつ
動物から人へ、人から動物へ移る病気は200種類以上あるといわれています。森の中には動物のフン
しがい しぜん なか かえ てあら くつ つち お だいじ
や死骸もあるため、自然の中から帰ってきたらまずは手洗い。靴の土をしっかりと落とすことも大事です。

柱3

かんきょうほご 環境保護

い もの ばしょ まも ひと やせいどうぶつ ひと どうぶつ けんこう たも
生き物たちのすむ場所が守られ、人と野生動物とのすみわけができてこそ、人や動物の健康を保つ
かんきょうほご ひと ゆた く まも
ことができます。環境保護は、人の豊かな暮らしを守ることにもつながっています。

柱4

人と動物との共生社会づくり



いぬ ねこ みちか どうぶつ やせいどうぶつ ひと く どうぶつ かか
犬や猫などの身近な動物から野生動物まで、人の暮らしはいろいろな動物と関わっています。
しいくどうぶつ てきせつ せわ みちか やせいどうぶつ せいたい どうぶつ りかい ふか たいせつ
飼育動物の適切なお世話や、身近な野生動物の生態など、動物についての理解を深めることが大切です。



ひと どうぶつ こころ からだ げんき じょうたい す せいかつかんきょう たいせつ
人や動物、みんなが心も体も元気な状態で過ごすことができる生活環境づくりが大切です。

ゆた しぜん どうしょくぶつ かん からだ うご こころ からだ けんこう じょうたい めざ
豊かな自然や動植物とのつながりを感じながら体を動かし、心も体も健康な状態を目指しましょう。

柱6

かんきょう ひと どうぶつ よ かんけい 環境と人と動物のより良き関係づくり



あんぜん あんしん た もの え けんぜん はたけ みず うし ぶた どうぶつ けんこう だいじ
安全・安心な食べ物を得るためには、健全な畑や水、牛や豚などの動物が健康であることが大事です。
た もの かんきょう し ちさんちしょう すいしん
食べ物のつくられた環境を知り、地産地消を推進することは、ワンヘルスにつながります。

薬剤耐性菌対策



わたし かんせんしょう なお くすり しょう
私たちは感染症を直すために薬を使用します。しかし、
かんせんしょう なお くすり きかん
感染症が治りにくくなっているようです。薬は、期間、
さいきん くすり き さいきん やくざいたいせいきん ふ
最近、薬が効きにくい細菌「薬剤耐性菌」が増え、
かいすう りょう まも つか たいせつ
回数、量などを守って使うことが大切です。

柱6

かんきょう ひと どうぶつ よ かんけい 環境と人と動物のより良き関係づくり



あんぜん あんしん た もの え けんぜん はたけ みず うし ぶた どうぶつ けんこう だいじ
安全・安心な食べ物を得るためには、健全な畑や水、牛や豚などの動物が健康であることが大事です。
た もの かんきょう し ちさんちしょう すいしん
食べ物のつくられた環境を知り、地産地消を推進することは、ワンヘルスにつながります。